

城下町映画祭

日映協フィルムセレクション

平成12年12月2日(土)・3日(日)

上田市文化会館

12/2(土)

講演



篠田 正浩

映画監督。

(Masahiro Shinoda)

1931年生まれ。岐阜県出身。

早稲田大学を卒業した後、'53年松竹大船撮影所に入社。'60年「恋の片道切符」で映画デビュー。第2作目の「乾いた湖」('60)で注目され、「涙を獅子のたて髪に」('62)、「暗殺」('64)「乾いた花」('64)など問題作を立て続けに発表し、大島渚・吉田喜重とともに「松竹ヌーヴェル・ヴァーグ」のひとりとして評される。'65年の「異聞猿飛佐助」を最後に、会社側の合理化案への不満から松竹を退社する。

その後、浄瑠璃・歌舞伎といった日本古典芸能(近松門左衛門「心中天網島」など)に取材した技巧的で色彩

2日(土)

青い山脈(上田ロケ作品)

オープニングセレモニー

少年時代

篠田正浩監督講演

『私の映画人生』

大魔神

クレージー大作戦

司会…小林良子

3日(日)

ナビィの恋

酔夢夜景

「いのちの海」舞台あいさつ

福原進監督・林泰文さん・上良早紀さん

いのちの海

鮫肌男と桃尻女

SF サムライ・フィクション

司会…三島さやか

豊かな作品をものにし、「鐘の権三」('86)でベルリン映画祭銀熊賞を受賞する。

「瀬戸内少年野球団」('84)、「少年時代」('90)、「瀬戸内ムーンライト・セレナーデ」('96)の少年三部作では、戦中・戦後の混乱期、時代の変化に翻弄される大人達と無邪気でありながらしたたかで残酷な一面を持つ子供達を描いて絶賛を浴びる。

'99年の「泉の城」では、最新のSFX技術を取り入れるなど今後の活動が期待されている。

夫人は、「乾いた湖」で篠田作品に初出演した女優、岩下志麻である。

チケット■信越放送各放送局、上田市役所受付、上田市教育委員会生涯学習課、市内プレイガイド、上田映画、でんき館
お問い合わせ／信越放送上田放送局 TEL0268-24-2141

チケット料金／2日券=2,000円 1日券=1,500円 前売券=1,200円 大学生=800円 高校生以下=500円

12/3(日)

「いのちの海」
舞台あいさつ

福原 進 監督



福原 進 <Susumu Fukuhara> 映画監督。

1964年中央大学卒業後、フリーの演出家として、主にイベント映像、ドキュメンタリー映画、テレビ番組を手がける。ギャラクシー賞、文部大臣賞など受賞多数。監督作品として(TV)大英博物館・三部作、ボストン美術館物語、クレムリン宮殿、(大型映画)つくば博'85住友館上映映画「大地の詩」、瀬戸内博'88日本ハム館上映映画「ライン不思議な冒険」などがある。劇場用映画としては、「いのちの海」が初監督作品となる。

上良 早紀 <Saki Kamiryo> 俳優。1982年生まれ。大阪府出身。

第1回「ザ・ジャパン・オーディション」で19万5千人の中から選ばれた大型新人アイドル。グリコ「つぶつぶポッキー」のCMで、その笑顔を全国に広めた。TVをはじめ舞台、ラジオなどで活躍中。

林 泰文 <Yasufumi Hayashi> 俳優。1971年生まれ。東京都出身。

'86年大林宣彦監督の「野ゆき山ゆき海ゆき」で本格デビュー。大林作品には欠かせない存在で、「青春デンデケデケデ」では日本アカデミー賞新人賞を受賞した。NHK朝の連続テレビ小説「かりん」にも出演し、好評を博した。



上良早紀



林 泰文

主催「うえだ城下町映画祭」実行委員会(上田市・上田市教育委員会・信越放送)、日本映画製作者協会

後援■上田商工会議所、上田市塩田商工会、上田市川西商工会、上田観光コンベンション協会、上田青年会議所、上田地域広域連合、上田市文化芸術協会、信州地域デジタルアーカイブ研究会、上田商業21世紀会、長野県情報サービス振興協会東信支部、上田地域新映像産業推進協議会、上田市連合婦人会、上田市婦人団体連絡協議会、女と男うえだ市民の会、東日本旅客鉄道(株)上田駅、しなの鉄道、上田交通、信濃毎日新聞社、信州民報、東信ジャーナル社、週刊上田新聞社、上田ケーブルビジョン、長野大学

協力■セム・コーポレーション

プログラム

12月2日(土)

10:30 青い山脈(上田ロケ作品)
13:00 オープニングセレモニー
少年時代
15:30 篠田正浩監督講演
「私の映画人生」
16:45 大魔神
18:20 クレージー大作戦
20:00 終了予定

12月3日(日)

10:30 ナビィの恋
12:40 酔夢夜景
14:10 「いのちの海」舞台あいさつ
福原進監督・林泰文さん・上良早紀さん
いのちの海
16:30 鮫肌男と桃尻女
18:30 SF サムライ・フィクション
20:21 終了予定

■青い山脈

1975年製作：東宝／監督：河崎義祐／出演：三浦友和、片平なぎさ、中野良子、村野武範ほか

石坂洋次郎原作の同名小説を'49年に今井正監督が映画化して以来、4度目のリメイク作品。青い山脈にかこまれた地方都市を舞台に、恋愛をめぐる新旧世代の対立と青春時代を謳歌する若者たちを明るく健康的に描いた永遠の青春映画。この作品は上田でロケされ、北小学校、上田城址、柳町など市内各所が登場する。



■少年時代

1990年製作：「少年時代」実行委員会／監督：篠田正浩／出演：岩下志麻、細川俊之、河原崎長一郎、仙道敦子ほか

名作「瀬戸内少年野球団」に続く少年3部作の2作目。戦争末期の混沌とした時代を背景に、東京から富山へ縁故疎開した少年が体験する様々な出来事を、少年たちの内面にまで踏み込んで描き、国内の映画賞を総なめにした。山田太一が脚本を書き、井上陽水の同名主題歌も大ヒットした。



■大魔神

1966年製作：大映京都／監督：安田公義／出演：高田美和、藤巻潤、青山良彦、五味龍太郎ほか

「大怪獣ガメラ」に続き、大映「特撮路線」の一つとして1年間に3本が製作された特撮時代劇シリーズの第1作目。悪家老によって領主であった父を殺され、復讐を誓う兄妹に危機が迫った時、天変地異とともに大魔神が姿を現す。大魔神が暴れまわるスペクタクル・シーンは特撮技術が縦横に駆使され、まさに圧巻。



■クレージー大作戦

1966年製作：渡辺プロ、東宝／監督：古沢憲吾／出演：クレージー・キャッツ、野川由美子、藤あきみ、青島幸男ほか

日本を代表するコメディグループ、クレージーキャッツが大活躍する喜劇シリーズで、'63年～'70年にかけて全14作品が製作された。本作は第7作目にあたり、植木等をはじめとするクレージーキャッツの面々が犯罪のプロフェッショナルに扮し、ギャングから現金10億円を奪おうとするアイデア満載の犯罪喜劇。



■ナビィの恋

1999年製作：イエス・ビジョン、オフィス・シロウズ／監督：中江裕司／出演：西田尚美、村上淳、平良とみ、登川誠仁ほか

沖縄の小さな島。里帰りする奈々子と同じ船で島に降り立った老紳士は、ナビィおばあの60年前の恋の相手だった。それを知りつつ恵達おじいちは飄々と毎日を過し、一方奈々子は恵達おじいの連れて来た風来坊・福之助の事が気に入りだす。沖縄の鮮やかな色彩の中で繰り広げられる、せつなくて幸せな物語。



■酔夢夜景

1998年製作：シネロケット／監督：片岡修二／出演：大久保貴光、李丹、喜多嶋舞、オン・スイビンほか

日本滞在のため偽装結婚しようとする女と、金で彼女に戸籍を売った男。それを忘れかけた頃、男は一度会っただけの妻の死を知らされ、そしてその遺骨を前に、異国で死んだ彼女を知りたい衝動にかられる。浅田次郎原作の「ラブ・レター」を彷彿とさせる設定の哀しい愛の物語。



■いのちの海

1999年製作：イーハーフィルムズ／監督：福原進／出演：上良早紀、林泰文、頭師佳孝、中村嘉律雄ほか

原作は山本周五郎賞を受賞した帚木蓬生のベストセラー小説「閉鎖病棟」。有明海に近い精神病棟の静寂を突如破った殺人事件を通して、人生に絶望した少女が、重い過去を背負った人々によって癒され、再生して行く姿を感動的に描いたサスペンスドラマ。モントリオール映画祭正式出品。



■鮫肌男と桃尻女

1998年製作：東北新社／監督：石井克人／出演：浅野忠信、小日向しえ、岸部一徳、鶴見辰吾ほか

望月峯太郎の同名マンガを映画化。組織から金を奪い逃げる男一鮫肌と、彼を偶然にも助けてしまった冴えない女トシコ。逃げる彼らを追う人々の個性的な演技、特に我修院達也(若人あきら)のキャラクターは強烈。彼らを取り巻く非現実的な状況はどこかスタイリッシュ。



■SF サムライ・フィクション

1998年製作：SF製作委員会／監督：中野裕之／出演：吹越満、布袋寅泰、風間杜夫、藤井フミヤほか

M.T.V界のクロサワ、中野裕之の初監督作品。藩の宝刀を持ち逃走した剣士・風祭を追う平四郎。だがあっさり返り打ちに遭い、過去を持った浪人・溝口に助けられる。平四郎は彼に弟子入りを申し出るが…。斬新なカメラワーク。新感覚時代劇。



ご案内

